

第1学年 体育科学習指導案

日 時：令和5年 11月22日（水）公開授業Ⅰ

対象児童：滝沢市立滝沢小学校1年2組 32名

授業者：T1 瀬川 柚葉 T2 川越 元司

1 単元名 体づくりの運動あそび

2 単元の目標

- (1) 体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができるようにする。 [知識及び技能]
- (2) 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができるようにする。 [知識及び技能]
- (3) 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 [思考力、判断力、表現力等]
- (4) 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでもなかよく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

(1) 児童について

児童は、校庭の固定遊具などを使って喜んで遊ぶことが多い。一方で、友達の中にとけ込めなかったり、集団行動を苦手としたりする児童も数名いる。簡単なルールの遊びはできるが、児童だけではルールを守れなかったり、意欲が続かなかったりして、仲よく遊ぶことが難しい。また、最後までやり通すことができななかったり、思い通りにならなかったりすると気持ちの整理がつかず拗ねてしまう児童もいる。

本教材を通して、友達と活動できる喜びを感じ、体を動かすことの楽しさを味わわせたい。また、順番を守ったり、決まりを守ったりすることは、仲よく運動遊びをする上で大切なことだと実感させたい。

児童はこれまでに、「マットを使った運動遊び」を経験してきている。前転がり・後転がりに挑戦し進んでマット遊びをしようとする児童もいるが、手支持の力が弱くうまくできない児童や、転がり遊びの経験が乏しい児童も数名いた。本教材では、動物歩きを通して手支持の力を培っていきたい。

(2) 教材について

低学年の体づくりの運動遊びは、「体ほぐしの運動遊び」及び「多様な動きをつくる運動遊び」で構成されている。体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、伸び伸びと体を動かしながら、様々な基本的な体の動きを身に付けることがねらいである。また、低学年はこれらの運動遊びの行い方を知り、自己の心と体の状態に気付いたり、みんなで関わり合ったりするとともに、様々な基本的な体の動きを楽しく経験することにより、動きの幅を広げ、中学年の体づくりの学習につなげていくことが求められる。

友達と話し合いながら簡単な行い方を工夫し、考えた運動遊びを友達に伝えるとともに、体づくりの運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動遊びをしたり、場の安全に気を付けたりすることなどができるようにすることが大切である。

(3) 指導について

本単元では児童が楽しんで取り組めるように「忍者修行」を名目にし、基本的な体の動きを経験させ、体を動かすことの心地よさを味わわせていきたい。「いどうのじゅつ」「どうぐのじゅつ」「ちからのじゅつ」を柱として、それぞれの動きの特性に応じて、ペアで活動したり、人数を増やしたりするなど、様々な集団の中で友達と関わり合いを楽しめる場を多く作っていく。運動能力の個人差や体格差が大きいことから、どんな児童でも楽しめる場づくりや雰囲気づくりを心がけて学習意欲を高めていきたい。また、体を動かす前と動かし後の気持ちを比較させ、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わわせていく。

自分や友達のよかったところを話し合える時間を作り、自分の動きを工夫したり、考えた運動遊びを友達に伝えたりするとともに、体づくりの運動遊びに進んで取り組ませていきたい。

ICTの活用としては、基本となる動きを動画で見せるなどして、体を動かす時間を多く確保していけるようにしたい。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知①体ほぐしの運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。 技②様々な行い方で体を移動する動きを身に付けている。 技③用具を操作するなどの動きで遊ぶことができる。 技④力を出しきったり、力を緩めたりする力試しの動きを身に付けることができる。	①楽しくできる体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 ②友達のよい動きを見付けたら、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えたり書いたりしている。	①体ほぐしの運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ②多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ③きまりを守り誰とでも仲よく運動しようとしている。 ④場の安全に気を付けている。

5 単元計画 (10 時間)

時	1	2	3	4	5(本時)	6	7	8	9	10
0	オリエンテーション ・学習内容の確認 ・安全の約束 ・場の準備や片付けの仕方の確認 ・体ほぐしの運動遊びの紹介 ・ルールづくり	場の準備→準備運動 (体ほぐしの運動遊び)								
		体ほぐしの運動遊び		体を移動する運動遊び		用具を操作する運動遊び		力試しの運動遊び		グループで今までに行った動きを組み合わせてオリジナルの術を行う。
		様々な体ほぐしの運動遊びの行い方を知る。	・前時と同様	移動の術 ・跳ぶ ・走る ・這う	・前時と同様	道具の術 ・持つ ・回す ・転がす ・くぐる	・前時と同様	力の術 ・押す ・引く ・支える ・力比べ	・前時と同様	
		よかった動きを話し合う								
		振り返り→片付け								
45										
知・技	知① (行動観察) (カード分析)			技② (行動観察)		技③ (行動観察)		技④ (行動観察)		知① (行動観察) (カード分析)
思			思① (行動観察)		思② (行動観察) (カード分析)					
態	態① (行動観察)	態④ (行動観察)					態② (行動観察)		態③ (行動観察)	

6 本時の指導（5時間目/全10時間）

(1) 目標

友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えたり書いたりしている。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
思考判断表現	友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えたり書いたりしている。	友達の動きを見て見付けたよい動きや，やってみて楽しいと感じた運動の行い方を伝えさせる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点
		◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価
導入 7分	1 場の準備 2 準備運動 ・からだじゃんけん ・みんなでジャンプ ・どうぶつ歩き 3 課題把握 【学習課題】 なかまのにんじやの よいところを 見つけよう。	・運動を始める前の気持ちを書かせる。 ・BGMを流しながら，一つ一つの動きを丁寧に行うよう助言する。
展開 33分	4 学習活動 (1)修行タイム ・4つの場所（跳ぶ，走る，投げる，這う）に分かれて，様々な遊びを楽しむ。 (2)よかった動きを話し合う。 (3)友達のよい動きを取り入れる。	・基本となる動きのポイントを可視化し，活動につなげる。（ICT活用） ・苦手な児童には，友達の動きを真似たり，友達の後について行ったりするなど，体の動かし方が分かるように配慮する。 ・忍者を意識させ姿勢，速さ，リズム，方向等を変化させて活動できるようにする。 ◇ペアやグループとなり，声を掛けあったり，協力したりして活動させる。 ◇友達のよかったところをペアで話し合えるようにする。 ・姿勢，速さ，リズム，方向がどのようによかったか話し合わせる。 ●友達のよい動きを見付けたり，工夫した楽しい遊び方を友達に伝えたり書いたりしている。 ・見付けた友達のよい動きを取り入れられるように，声掛けをする。
終末 5分	5 振り返り	□学習カードをもとに，自分や友達のがんばりや工夫を振り返るようにする。 ・運動をした後の気持ちを書かせ，運動を始める前の気持ちと比較させる。 【例】 ・小さくなってジグザグばしりをしたら，はやくはれました。 ・たかいジャンプやひくいジャンプをたくさんできました。

(4)場の設定



